

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、新規の検査拡大に努めておりますが、この度、下記項目の受託サービスを開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- [7181] アルドステロン／レニン活性比
  - [7184] アルドステロン／レニン濃度比
- ※ご依頼に際しましては、裏面の検査要項の備考欄をご確認下さい。

### 報告開始日

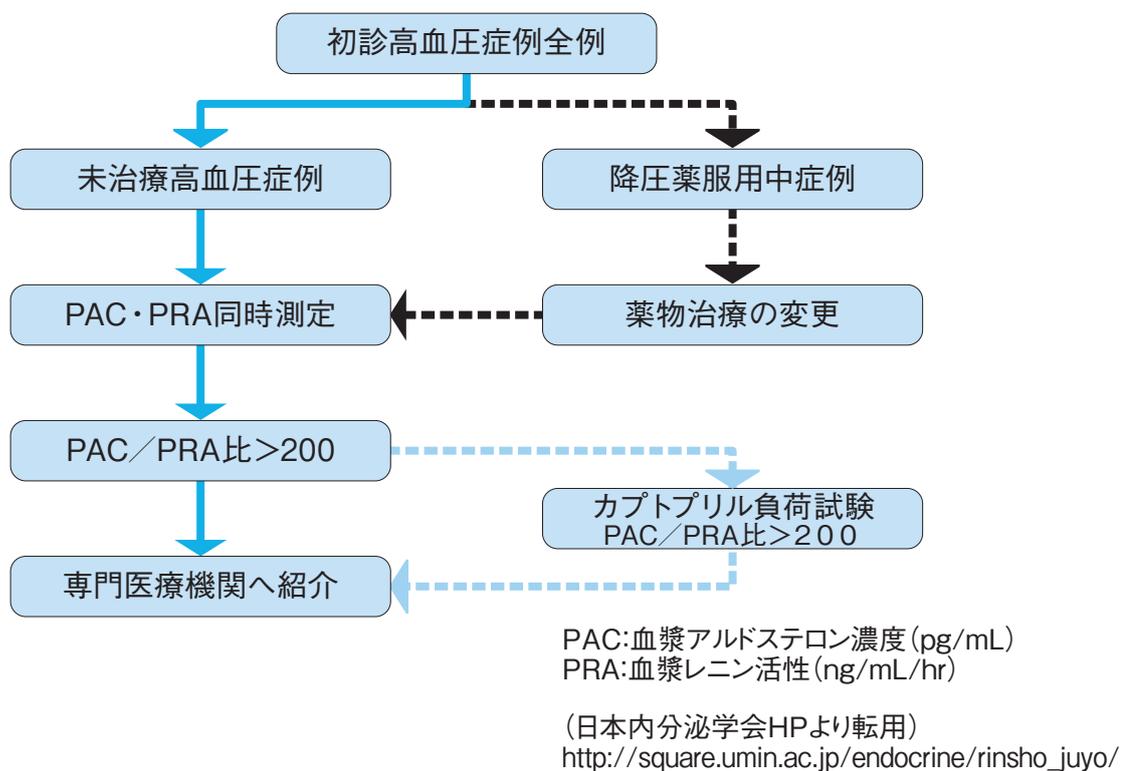
- 平成22年8月2日(月)受付分より

## アルドステロン／レニン比

最近、原発性アルドステロン症 (PA) が高血圧症の原因のひとつとして注目されています。従来、本症患者数は少ないと考えられていましたが、検査が容易になるにつれ、相当数のPA患者が存在することが明らかになってきました (推定患者数は報告により異なりますが、200万-400万人とされています)。

今般、PAの一次スクリーニングとしてアルドステロン/レニン比を求めることが日本内分泌学会の診療ガイドラインに記載されました。

### 【原発性アルドステロン症診断のフロー\*1】



### 検査要項

項目コード	7181	項目コード	7184
検査項目名	アルドステロン／レニン活性比*2	検査項目名	アルドステロン／レニン濃度比*2
カットオフ値	200以下	カットオフ値	40以下
所要日数	3～4日	所要日数	2～5日
備考	ご依頼の際には、 [7181] アルドステロン/レニン活性比 [0973] アルドステロン〈血漿〉 [0990] レニン活性 (PRA) 上記3項目を同時にご依頼下さい。	備考	ご依頼の際には、 [7184] アルドステロン/レニン濃度比 [0973] アルドステロン〈血漿〉 [2946] レニン濃度 (PRC) の 上記3項目を同時にご依頼下さい。

\*1 PRAの代わりにレニン濃度 (PRC:pg/mL)を使用の際はPAC/PRC比>40で判定することができます。  
氷冷するとcryoactivationによりPRCが高値となる可能性がありますのでご注意下さい。

\*2 アルドステロンとレニン活性もしくはレニン濃度と同時に依頼頂いた場合は、無償にてご報告させていただきます。